

カナダで学んだこと



9月30日金 10月8日土



田原市の中学生11名と引率者3名の計14名の皆さんが、9月30日(金)~10月8日(土)の9日間、カナダ・バンクーバー市を訪問しました。ホームステイや中学校(ポイントグレイ校)への体験入学、ビクトリア島の見学などで現地の人々と交流しました。ここでは、帰国後の報告内容の一部をご紹介します。(敬称略) 指導課 23局3679

【団長 赤羽根中学校長】 渡会輝夫

私たちは今回で6回目のバンクーバー市を訪れ、一層の友好関係を深めることができました。また、ポイントグレイ校の体験学習やホームステイなどを通して、多くのことを学ぶことができました。その中で、私が注目したのは、カナダの家庭教育も学校教育も子どもの「自立」を目指して教育が行われていることである。子どもは高校又は大学を卒業すると独立し、親と一緒に住まないのが原則だそうである。そのために家庭では3歳から個室と年齢に見合う仕事を与えられ、しつけられる。学校では子どもの自主性や個性を尊重し、「自立」のための基礎学力をしっかりと身につかせる教育が行われている。子ども自身も自分の将来を見据え、なぜ勉強が必要なのかをよく理解しているそうである。この研修で、私も生徒も多くのことを学び、貴重な体験を今後の学校生活に生かしていきたいと思っている。

【引率 東部中学校教諭】 片上堅司

9日間のカナダ訪問。豊かな自然と温かい人々に迎えられる、素晴らしいものになりました。田原市代表として参加した生徒達は、ホームステイや学校訪問を通して、文化や習慣、言語など、様々なことを学ぶことができました。日本とは全く異なった、違う国、違う文化、違う人々の中で生活することができた

9日間は生徒にとっても、私にとっても貴重な体験になりました。今後この海外交流を通して、より多くの中学生が同じような体験をしてほしいと感じました。

【引率 教育委員会】 山本克仁

今回は、バンクーバー市の教育委員会を訪問することができました。バンクーバーの義務教育は、初等教育の7年間と中等教育の4年間で構成されています。特に中等教育の選択教育が充実しています。音楽には、ジャズ、ブラズバンド等もあり、第2外国語には、日本語もあります。体育でバスケットボールを選択すると1年間たつぷりと楽しむことができます。専門性を重視し、ゆとりのある教育が行われています。カナダの先生が、Confidence(信用) Relation(つながり) Share(分担)が教育のモットーだと話されていたことが印象的でした。

【東部中3年】 八木さゆみ

私は今回2度目の海外でした。ホームステイも2回目でしたが、今回新しい発見がありました。

カナダで一番最初に思ったことは、自然がきれいだったことでした。ちょうど紅葉の時期だったので、もみじ並木の街路樹がとても美しかったです。

多文化社会のカナダは、日本人が見

直さなくてはいけないことを気付かせてくれたように思います。楽しい思い出がたくさんできて本当に良かったです。

【東部中3年】 菰田 操

移民が多く、いろいろな国を理解しているカナダでは、上手な英語でなくても伝えようという姿勢を見せると、人々は必ずそれに応えてくれました。私の3年目の英語力でもなんとか会話ができるようになりました。学校の日本語のクラスで驚いたことは、みんな日本語が大好きで、授業を楽しんで受けているということです。初めて日本を出て、日本の良さを改めて発見したり、異文化に感動したりしました。自分自身も大きく成長できたので、今回の経験を将来に生かしたいと思っています。

【東部中3年】 平井晶子

カナダは、自然がたくさんあり、多くの民族によってつくられている多民族国家でした。初めてのホームステイは、不安と緊張と期待でいっぱいでした。ホストファミリーに出会い、温かく迎えられる、カナダにもう一つの家族ができたみたいでとてもうれしかったです。とても貴重な楽しい時間を過ごすことができました。そして、もっといろいろな勉強をして、もう一度カナダに行きたいです。